

ザルティアを 服用される患者さんへ



目 次

はじめに	4
前立腺肥大症と排尿障害	8
ザルティアの考えられるはたらき	10
ザルティアの服用上の注意	12
日常生活について	22

.....
本冊子には、ザルティアに関する
大切な情報が記載されています。
ザルティアを正しく安全に
使用していただくために、
服用前に必ず最後までお読みください。
.....

【監修】

国立研究開発法人 国立長寿医療研究センター
手術・集中治療部 部長
吉田 正貴

あなたを悩ませている 排尿に関する症状を改善し ましょう

前立腺肥大症になると、症状を気にするあまり、気づかぬうちに外出機会が減ってしまったり、内向的になってしまい、結果として、QOL(生活の質)が低下してしまうことがあります。

若い頃と比べて、
尿の勢いが
弱い

排尿に時間が
かかる

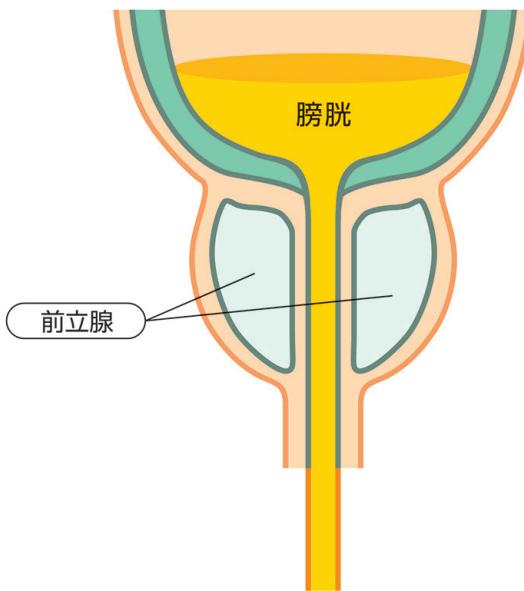


おくすりを正しく服用するとともに、
生活習慣を改善したり、趣味の時間を楽しむ
など、活動的な生活を送りましょう。



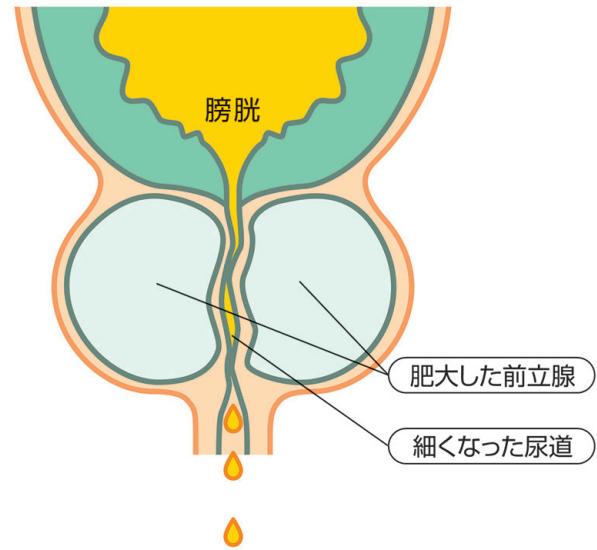
前立腺肥大症による排尿障害の原因としては、**前立腺の肥大**と**前立腺および尿道の緊張**が考えられています

正常な前立腺



前立腺の肥大

肥大した前立腺が尿道を圧迫するため、尿が出にくくなります（機械的閉塞）。



前立腺および尿道の緊張

神経のはたらきによって前立腺が緊張（収縮）し、尿道が圧迫され尿が出にくくなります（機能的閉塞）。

ザルティアは、3つの考え方で前立腺肥大症によって起こる排尿障害を改善すると考えられています

1

前立腺および尿道などの膀胱出口部
をゆるめて、尿を出やすくします。

2

血液の流れを増やして、
膀胱や前立腺の状態を良くします。

3

異常な尿意をおさえ尿の回数を減らしたり、尿をがまんできない状態を減らします。

前立腺肥大症では、
尿が十分たまる前に強い尿意を生じるようになります。



硝酸剤またはアデムパス[®] (一般名:リオシグアト)による 治療を受けている方は ザルティアを服用しないで ください

14~15ページ参照

狭心症などの心臓病によく用いられるニトログリセリンなどの硝酸剤やアデムパス[®]を使用されている方は、ザルティアを絶対に服用しないでください。ザルティアと一緒に服用すると、急激に血圧が下降し、重い副作用を起こすことがあります。

- 硝酸剤には飲み薬だけでなく、舌下錠、貼り薬、吸入薬、注射、塗り薬、スプレーなどもあります。
- あなたがお使いの薬に硝酸剤またはアデムパス[®]が含まれていないかどうか 医師または薬剤師にご相談ください。



次の方は、ザルティアを服用しないでください。

- 過去にザルティアに含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある方
- 硝酸剤を使用している方
- アデムパス[®]を服用している方
- 不安定狭心症の方
- 通常の身体活動で症状が発現したり、身体活動が著しく制限されるような心不全のある方
- 安定していない不整脈の方
- 低血圧の方(最大血圧が 90mmHg 未満または最小血圧が 50mmHg 未満)
- 高血圧の方(最大血圧が 170mmHg より高いまたは最小血圧が 100mmHg より高い)
- 最近 3 カ月以内に心筋梗塞を患ったことのある方
- 最近 6 カ月以内に脳梗塞・脳出血を患ったことのある方
- 重い肝障害のある方
- 重い腎障害のある方

主な硝酸剤の商品名(飲み薬、舌下錠、吸入薬、貼り薬、スプレー)

- アイトロール錠10mg / 20mg
- 亜硝酸アミル「第一三共」
- 亜硝酸アミル「AFP」
- イソコロナールRカプセル20mg
- 一硝酸イソソルビド10mg / 20mg「サワイ」
- 一硝酸イソソルビド10mg / 20mg「タイヨー」
- 一硝酸イソソルビド10mg / 20mg「トーワ」
- 一硝酸イソソルビド10mg / 20mg「日新」
- カリアントSRカプセル20mg
- シグマート錠2.5mg / 5mg
- 硝酸イソソルビド徐放カプセル20mg「ZE」
- 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「サワイ」
- 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「ツルハラ」
- 硝酸イソソルビド徐放錠20mg「トーワ」
- 硝酸イソソルビドテープ40mg「サワイ」
- 硝酸イソソルビドテープ40mg「テイコク」
- 硝酸イソソルビドテープ40mg「東光」
- 硝酸イソソルビドテープ40mg「モチダ」
- 硝酸イソソルビドテープ40mg「EMEC」
- ソプレロール錠10mg / 20mg
- タイシロール錠10mg / 20mg

- ニコランジル錠2.5mg / 5mg「サワイ」
- ニコランジル錠2.5mg / 5mg「トーワ」
- ニコランジル錠2.5mg / 5mg「日医工」
- ニトラステープ40mg
- ニトログリセリンテープ27mg「トーワ」
- ニトロダームTTS25mg
- ニトロペン舌下錠0.3mg
- ニトロールスプレー 1.25mg
- ニトロール錠5mg
- ニトロールRカプセル20mg
- ハイバジールコーウ錠3/6
- バソレーター テープ27mg
- フランドル錠20mg
- フランドルテープ40mg
- ミオコールスプレー 0.3mg
- ミニトロテープ27mg
- ミリストープ5mg
- メディトランステープ27mg
- リファタックテープ40mg

その他の薬剤

- アデムパス錠0.5mg / 1.0mg / 2.5mg

(2019年10月現在)

次の方は、ザルティアの服用に際して注意が必要です。必ず医師または薬剤師にご相談ください

α遮断剤、ホスホジエステラーゼ(PDE)5阻害剤を服用中の方

腎臓の悪い方

肝臓の悪い方



高齢の方

陰茎の病気(屈曲、しこりなど)のある方

血液の病気(鎌状赤血球性貧血、多発性骨髄腫、白血病など)のある方

血が止まりにくいなど出血性の病気のある方、または消化性潰瘍のある方

網膜色素変性症の方

※ザルティアには併用してはいけない薬や併用に注意すべき薬があります。
他の薬を使用している場合や、新たに使用される場合は、必ず医師または薬剤師にご相談ください。

ザルティアの服用にあたっての注意点



1日1回、通常1錠(5mg)を服用してください。



ザルティア服用後、下記のような症状があれば、すぐに医師にご相談ください。

- 4時間以上勃起が続く
- 目が見えにくい
- 耳が聞こえにくい



臨床試験において、めまいや視覚障害が認められているため、ザルティア服用後、高いところでの作業、自動車の運転等危険を伴う機械を操作する際はご注意ください。



ザルティアの服用にあたっての注意点



ザルティアによって、以下の副作用の報告があります。
その多くは軽度で一過性ですが、こうした症状の他にも気になる症状がある場合には、服用を中止し、医師または薬剤師にご相談ください。



- 消化不良(胸やけ)
- 頭痛



ザルティアを他の人に譲らないでください。ザルティアは、必ず医師の診断のもとに処方される必要があります。

あなたに処方されたザルティアを、絶対に他の人に渡してはいけません。その人が心臓の病気にかかっていたり、ザルティアと一緒に飲むと影響のある薬を使用されている場合もあり、大変危険です。



他の診療科、医療機関を受診されるときは、ザルティアを服用していることを申し出てください。他の病気や他の薬に影響を及ぼす場合があります。



日常生活で気をつけて いただきたいこと



おくすりの効果がすぐに
みられなくても服用を続ける
医師または薬剤師の指示に
従ってください。



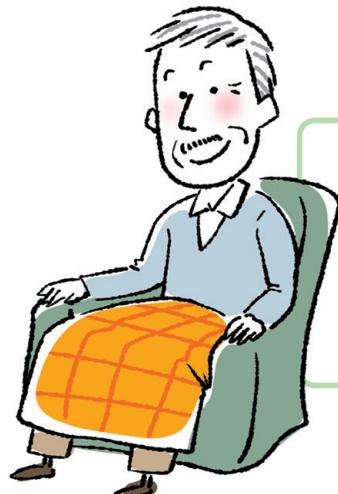
軽い体操や散歩など
適度な運動を

血流を良くし、前立腺のうっ血を予防します。また、適度な疲労感は夜間頻尿による不眠解消にも役立ちます。



運転(自動車、自転車)など
長時間座った姿勢をとらない

下半身の血流が悪くなり、前立腺がうっ血して、症状を強めることができます。
自転車などでは前立腺が圧迫されます。



下半身を冷やさないようにする

下半身の血流が悪くなり、前立腺がうっ血して、症状を強めることができます。



毎日、ぬるめのお風呂にゆったりとつかる(38~40°C)

血流を良くし、症状をやわらげる効果があります。



便秘にならないようにする

腸にたまった便が尿道を圧迫し、症状を強めることができます。



尿をがまんしないようにする

膀胱や腎臓に悪影響をあたえます。

アルコールを飲み過ぎない
過度のコーヒー摂取も要注意

前立腺をうっ血させ、
尿が急に出なくなることが
あります。



刺激の強い
食べ物は避ける

前立腺を充血させ、
尿が急に出なくなる
ことがあります。



適度な水分をとる

排尿回数が増えることを心
配して水分を制限しすぎると、脱水症状に陥る危険が
あります。

【参考】

堀江 重郎 著「名医の図解 最新よくわかる泌尿器の病気」(主婦と生活社)

丸茂 健、河村 信夫 著「医療の新常識シリーズ 男性更年期障害・
勃起障害(ED)・前立腺の病気を治す」(柘植書房新社)

いつでもご覧いただけるよう、
大切に保管してください。

施設名



日本新薬株式会社

NS ZL-13F(D/D)